

＝「11・22 事件」から 40 年＝

# 在日韓国人政治犯とあい次ぐ再審 無罪判決の意味を考える 11・22 市民集会

「11・22 事件」を覚えておられますか？！

あれから 40 年、あい次ぐ再審無罪判決の意味を共に考えましょう。

40 年前の 1975 年 11 月 22 日、韓国中央情報部は「在日同胞留学生スパイ団を摘発した」と発表し、韓国社会と在日同胞社会に大きな衝撃と恐怖心をもたらしました。世に言う「11・22 事件」です。

1970、80 年代、当時の韓国軍事政権はことある毎に、在日同胞スパイ事件をでっち上げて、政権安保のために利用してきました。その数は百数十名に上ります。彼らは死刑判決の 7 名をはじめ、無期、15 年刑などの重刑を受け、長い獄中生活を強いられました。その間、日本中で燃え上がった救命、救援運動は、在日政治犯たちの全員釈放という大きな勝利をかち取りました。

今 40 年の歳月を経て、再審を通して彼らの無実が次々に明らかになり、現在まで 27 名の無罪が確定しています。

私たちは、あの「11・22 事件」から 40 年を迎え、「在日韓国入スパイ事件」とは何だったのか。そして、70、80 年代に韓国に渡った在日韓国人たちの思いは何だったのか。なぜ、すべての再審裁判で無罪判決が宣告されるのかを、皆様と共に考えてみようと思います。

友人の皆さん、市民の皆さん、「11・22」の日にお目にかかりましょう！



## 《 11・22 市民集会 》

■ 開催：2015 年 11 月 22 日（日）pm2:00 ～（pm1:30 開場）

■ 会場：浪速区民センター・ホール

（大阪市浪速区稲荷 2-4-3 TEL：06-6568-2171 / ウラ面地図：参照）  
（地下鉄千日前線「桜川駅」：7 番出口からなにわ筋を南へ約 300m 西側）

■ 第 1 部「報告会」：在日韓国良心囚同友会、韓国弁護団より

■ 第 2 部「コンサート」：李政美さん、韓国「林賑澤と仲間たち」  
イ チョンミ イム ジンテク

■ 資料代：1000 円

■ 主催：「11・22 市民集会」実行委員会

問合せ：メール・アドレス：korea@e-sora.net / TEL：06-6721-6670

## 【「11・22 集会」 韓国からの参加者】

- 林ジンテク：マダン劇演出家。創作パンソリ名唱。ソウル大外交学科卒業。民青学連事件被害者。創作パンソリ作品「五賊」「ソリ内歴」「五月光州」その他。2014年治癒演劇「傷の花」芸術総監督。拷問被害者パンソリ講座指導。
- 羅ジョンイン：1985年11月のでっち上げスパイ事件拷問被害者。再審進行中、14年服役。
- 金スジョン：羅ジョンイン妻。
- 朴スンヒ：労働運動家。1970年代「元豊毛紡」民主労組指導者。
- 柳ドンウ：労働運動家。「ある石ころの叫び」著者。1980年 全国民主労働者連盟事件の拷問被害者、再審無罪。
- 朴スネ：1970年代「元豊毛紡」民主労組運動家。
- 黄ヨンエ：1970年代「元豊毛紡」民主労組運動家。
- 李ウオンソプ：「明日の新聞」論説委員。1980年言論統廃合事件で強制解職記者。前朝

- 鮮日報、ハンギョレ新聞記者、論説委員。
- 蔡ヨンビョン：金槿泰記念治癒センター会員。
- 李サヨン：1974年鬱陵島スパイ団事件の拷問被害者。14年服役。在日同胞 李佐永先生の弟、再審無罪。
- 朴クァンヨル：在野運動家。
- 崔ヤンジュン：1982年でっち上げスパイ事件拷問被害者。再審無罪。9年服役。
- 崔ミギョン：1975年ソウル大医大スパイ団事件の拷問被害者。朴鐘烈妻。

その他の行事参加者。

- 咸セウン：神父。（人権医学研究所理事長）
- 印ジェグン：国会議員。（金槿泰記念治癒センター共同代表）。
- 李ファヨン：人権医学研究所・金槿泰記念治癒センター所長。
- 林チェド：人権医学研究所事務局長。
- 朴ウンソン：金槿泰記念治癒センター企画室長。

※ 金槿泰記念治癒センターとは：拷問後遺症で亡くなられた民主人士・金槿泰先生を記念して設立されました。国家暴力、拷問被害者たちの治癒と、被害者の実態や人権状況を広く知らせて、国としての対策と社会的関心を求めて活動する NPO 団体です。



### 【李政美（い ちょんみ /Lee Jeongmi）さんプロフィール】

済州島生まれの両親のもと、6人兄弟の末っ子として東京・葛飾で生まれ、歌が大好きだったアボジ（父）が歌う韓国歌謡曲を聞いて育つ。オペラ歌手を夢見て、民族学校から国立音楽大学声楽科に進む。音大在学中に朝鮮の伝統音楽、世界の民族音楽に興味を持ち、朝鮮民謡、フォークソング、フォルクローレなどを歌いはじめる。その頃発表した音源に「鳥よ鳥よ」「キムミンギを歌う」等がある。

その後、子育て・充電期間を経て、1994年に屋久島に住む詩人・山尾三省と出会い、彼の詩「祈り」に曲をつけて歌ったのをきっかけにオリジナル曲をつくりはじめ、以来、オリジナルを中心にジャンルを超えた幅広いレパートリーで、ライブ、コンサートを展開している。

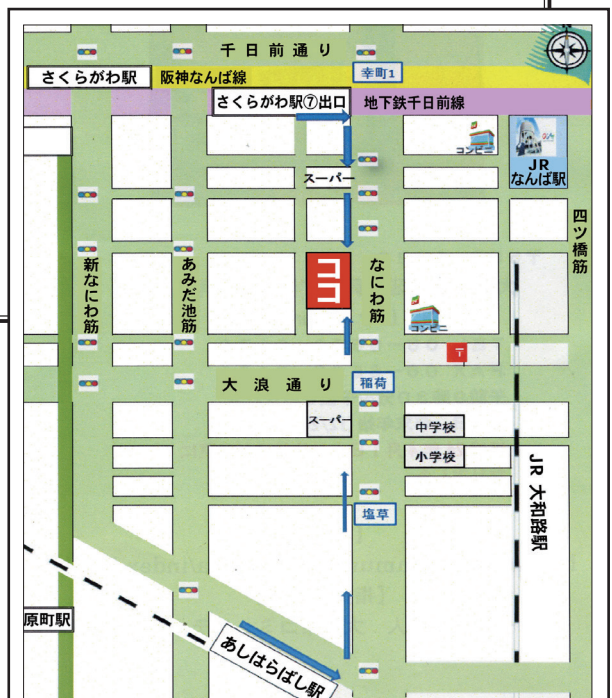
近年は、フリースタイルピアニスト・板橋文夫とのデュオや、朝鮮の民謡・童謡・歌曲・歌謡曲を編んだ「故郷の春コンサート」を成功させるなど、新たな境地を拓いている。

### 【近日、日本語版発刊予定!!】

『祖国が棄てた人々 —在日韓国人留学生スパイ事件の記録』  
(金孝淳・著／書海文集出版)



過ぎし時代に、国家転覆を企てたと物々しく発表（または発表もなしに隠ぺい）され、幾多の若者を死刑・無期囚に追いやった「在日韓国人留学生スパイ事件」のほとんど全部が捏造であったことを『祖国が棄てた人々』は活きいきと、そして冷静に示してくれる。それらの事件の真相と被害者の無念の事情と、事件を捏造した政権の非道徳性を、具体的に総合的に明かした本は、これが初めてである。（ハンギョレ新聞：書評）



### 【浪速区民センター・マップ】

- 地下鉄千日前線「桜川駅」7号出口  
(なにわ筋を南に 400m)
- JR大和路線「難波駅」(西に 800m)
- JR環状線「芦原橋駅」(北に 800m)
- 市バス「難波中学校前」(北に 100m)
- 【駐車場】周辺のコインパーキングを利用下さい。